

磐城新聞

行發日一十二月九
今日北の風晴
明日北西の晴時
夕曇

古新聞と私の癖

義母の遺骨を迎へて
赤井 嶽男

自分は愛蔵紙に對して極た家内などは少からず之を意地汚いとも云ふか厄介にした。そして往々必スストーリー方面は其の全部をなすら分してしまふ。讀み終らぬうちに何時迄も度い程急つ勝ちな義母は經つても保存して置き、暇始終の出来た時に取り出して讀んでしまつたら……

妖刀流轉

邑井 貞吉演
因果の妖刀 (十三)

此方から立出でましたは小兒が仕止めたから。數萬が遠藤嘉平次の大太刀の群衆を恐れ、一時にドに向ふ鉢巻を々々しき扮をす。

次回講談愈々明日より

悲劇 林 李兵衛

「作者の言葉」
人の世の道は、凡て縁起に掛かると云ふは、今も昔も少しも異ふところがある。

近詠

野風 恩地 淳一

風が吹くたび
思ひ出せば
昔の事自らが極めて浪漫的
で時間關係などを第二義と

天気豫報

今日北の風晴
明日北西の晴時
夕曇

賀友富選平市會

議員 其の二
珠璣 小舟務平

賀友富選平市會議員 其の二
珠璣 小舟務平
歩武堂々 藤原 貞吉



此方から立出でましたは小兒が仕止めたから。數萬が遠藤嘉平次の大太刀の群衆を恐れ、一時にドに向ふ鉢巻を々々しき扮をす。

此方から立出でましたは小兒が仕止めたから。數萬が遠藤嘉平次の大太刀の群衆を恐れ、一時にドに向ふ鉢巻を々々しき扮をす。

此方から立出でましたは小兒が仕止めたから。數萬が遠藤嘉平次の大太刀の群衆を恐れ、一時にドに向ふ鉢巻を々々しき扮をす。

矢來の外へ集まつてア白及を抜いて斬つてかゝつて一掃に止めをさし、漸く嘉(と評判)いたします。一夜の中に軍蔵の悪癖が厭ひなく、應匠町の道場へは痛快な次第。

「作者の言葉」
人の世の道は、凡て縁起に掛かると云ふは、今も昔も少しも異ふところがある。

上原 家政婦會

會主 上原通子
電話二二二番
産婆看護資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

高久病院

平市田町 (電話五三二番)
新醫學士 赤高 久
新醫學士 赤高 久
新醫學士 赤高 久

上田醫院

病室完備 (電話二一九)
X線科 専門科
外科 専門科

サロシ

食卓 喫茶
酒場 電わたり
町田平 二五三

木村病院

平市新川町十九番地
電話一六四番
婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩 俊雄

友部株式會社

營業所 水戸市東町二丁目
電話二四〇六〇番
助川町 天王 町
電話六九九番
大子町 榮 町
電話二九二九番

六戸屋商店

平市 電話二四二番
電話 (鮮魚部) 四〇七番

産科 醫學博士 五十嵐雄二

病室増築、手術室完備
平市新川町「電話三六九番」

石綿ムシカマド

實用新案 第一八七三〇號
意匠登録 第六六一六七號
石山式
「こんな經濟的な」かまどは他にありません
安價な燃料で済み、保温力が強く堅牢で
火の元絕對安全、御使用に御便利なし
石綿製のムシカマド、近代生活のお台所
に是非、たすめたい新製品で御座
います。

釜屋商店

平市五丁目
公債、株式、賣買
一般証券業務
電話一七七番

乾産業合資會社

東北産多産系種狸、獨乙系アーシンプエッチ
グァーマン種山羊分譲
福島縣平市振植小路寄番地
土地建物
電話金融
種狸分譲
平 電五五五番

院醫波難

小兒科 内科
入院 應需
自炊の便あり
平市大町
電話五〇二番
(看護婦見習、看護婦募集)

